

EYEBANK INFORMATION

ライオンズクラブとアイバンクの関係

1925年、アメリカ・オハイオ州で開催された第9回 LC 国際大会の記念講演に招かれた三重苦のヘレンケラー女史が、全世界から集まったメンバーに向かって「私のような不幸な人間が二度と現れないように、失明と予防と盲人の擁護をお願いしたい」と語り大きな反響をよびました。

秘書サリバン女史の手話通訳を通じて、ヘレンケラー女子の声なき声が会場に響いたとき、満場のライオンズメンバー達は、思わず総立ちになり「ウオーッ！」と叫びました。

尚、この「ウオーッ！」がライオンズメンバーの士気を高める“ライオンズ・ロアー”となって今に伝わっているとも云われています。

以来、「アイバンク事業」はライオンズクラブの主たる事業となって世界的規模で展開されています。富山県アイバンクは今年で20年を迎えました。

常務理事・野村謹吉



◆立ち入り検査が行われました

去る2月20日、アイバンク事務所において、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第27号第1項の規定により、運営組織及び事業活動に関する検査が実施されました。大黒幸雄理事長と入江コーディネーターの立ち会いの元、県医務課医務係長1名・主任2名によって滞りなく検査が完了いたしました。

◎アイバンク啓発活動にご協力いただきました◎

*富山西 LC 献血 Act.
時 : 2月14日
場所 : 富山国際大学附属高等学校
内容 : パンフレット配布

*となみセントラル LC 献血 Act.
時 : 2月19日
場所 : アピタ砺波店
内容 : パンフレット配布

◆4名の方からご献眼いただきました

去る2月2日、高岡市内の60代女性よりご献眼いただきました。ご尊父様もご献眼されており、ご自身も同じようにしたいとアイバンク登録をされていました。2R1ZC 代理室谷芳隆氏(高岡 LC)よりガバナー感謝状の伝達が行われ、大黒幸雄理事長が弔辞を奉読いたしました。

去る2月4日、魚津市内の70代男性よりご献眼いただきました。アイバンク登録をされており、常々ご支援くださっていました。1R3ZC 戸田昭一氏(滑川有恒 LC)よりガバナー感謝状の伝達が行われ、寺崎達二理事が弔辞を奉読いたしました。

去る2月9日、富山市内の70代女性よりご献眼いただきました。アイバンク登録をされており、その意思を尊重されてのご提供でした。1R1ZC の稲垣 實氏(富山平成 LC)よりガバナー感謝状の伝達が行われ、大黒幸雄理事長が弔辞を奉呈いたしました。

去る2月28日、富山市内の60代男性よりご献眼いただきました。ご家族のご意向によってのご献眼でした。家族葬のため、事務局がご葬儀に参列させていただきました。

本当に有難うございました。

お知らせ

理事会及び評議員会を3月14日に、富山県民会館にて開催致します。関係役員の方々におかれましては、お忙しいとは存じますが、何卒ご出席賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

《2月の事業実績の概要》

・献眼登録者数	3名
年度累計	74名
・献眼者数	4名
年度累計	19名
・奉仕銀行助成金	¥0
年度累計	¥2,500,000
・寄附金収入	¥36,000
年度累計	¥1,676,800
・賛助会費収入	¥122,000
年度累計	¥1,101,000
・募金収入	¥40,370
年度累計	¥326,150

[助成金寄附金等収入合計] ¥5,603,950

助成金・寄附金・賛助会費・募金等に関するご報告
(2/1～2/29まで) 敬称略

寄附金

10,000円 株式会社富山県義肢製作所(富山神通LC)
富山コピー販売株式会社(富山いきいきLC)
篠井晴夫(高岡フラワーLC)

3,000円 武田 宏(山田温泉病院)・林 とみい

賛助会費

法人 有限会社フジ企画(以上上市LC1社)、となみセントラルライオンズクラブ

個人 井上誠治・岡部光雄・佐々木照之・中田眞法(以上上市LC4名)

募金

ポプラ中屋店	16,828円	狩野眼科医院	8,978円
上市ライオンズクラブ	10,000円	ポプラ戸出春日店	4,564円

本当にありがとうございました。

平成23年度 献眼登録フォローアップ事業完了のご報告

公益財団法人日本アイバンク協会より委託を請けて行った「平成23年度献眼登録フォローアップ事業」が完了いたしましたので、ここに報告致します。

[調査対象] 2011年8月10日時点の登録者16,189名中任意の3,900名

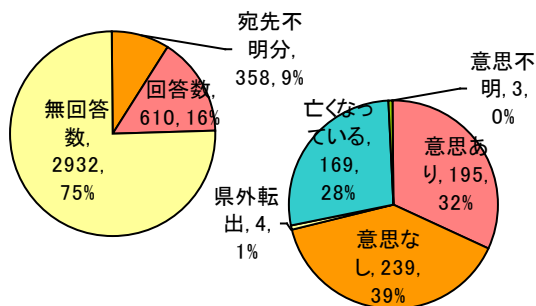
[調査方法] 自記式質問紙による郵送法

[調査期間] 2011年8月26日から2012年12月31日

総数3,900名中、回答数610名(15.6%)・宛先不明分358名(9.2%)・無回答2932名(75.2%)であった。

回答数610名中、登録継続意思あり195名(31.9%)・登録継続意思なし239名(39.2%)・県外転出4名(0.7%)・既に亡くなっている169名(27.7%)・意思不明3名(0.5%)であった。

登録継続意思なしの理由として記入があったのは34名39例で、その内訳はC型肝炎3例(7.7%)、高齢15例(38.5%)、角膜以外の眼疾患16例(41%)、全身疾患5例(12.8%)であった。これらの内、実際の適応禁忌はC型肝炎のみである。



回答数610名中、既にお亡くなりになっていた方169名(28%)と1/3近くの方のご意思が生かされていないという結果がでました。また、登録を辞退する理由のご記入があった内の大多数(92.3%)が誤った理由での辞退でした。高齢や白内障・緑内障でもご献眼いただけます。大切なご意思を生かすために、ご登録者はじめご家族にも正しい情報を知って頂くため、より一層の啓発活動が重要であると感じました。来年もう一度当事業を行う予定ですのでよろしくお願い致します。**ご協力ありがとうございました**

公益財団法人 富山県アイバンク

〒930-0194 富山市杉谷2630番
Tel: 076-434-5710 Fax: 076-436-0146
URL: <http://www.toyama-eyebank.com>
E-mail: info@toyama-eyebank.com

No. 110-2 2012/3